

2018 年 10 月 23 日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 山本 敏博

(東証第 1 部 証券コード：4324)

**電通、企業買収により欧州におけるデータマーケティングサービスを強化
— スイス、ドイツに事業展開する大手総合デジタルエージェンシー
「ナミックス社」の株式 100%取得で合意 —**

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：山本 敏博、資本金：746 億 981 万円）は、海外本社「電通イージス・ネットワーク」*を通じて、スイスおよびドイツで事業展開する大手総合デジタルエージェンシー「Namics AG」（本社：スイス・ザンクトガレン市、CEO：Bernd Schopp、以下「ナミックス社」）の株式 100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。なお、本件買収の実現には、ドイツ規制当局の承認が必要となります。

1995 年にスイスで設立されたナミックス社は、顧客体験（カスタマー・エクスペリエンス）管理に強みを持つ総合デジタルエージェンシーとして成長してきました。現在では 550 名の従業員を抱え、ドイツでも幅広く事業展開しています。デジタル領域の戦略コンサルティング、コンセプト開発、クリエイティブから、顧客体験をベースにしたマーケティングプラットフォームの技術的実装に至るまでの統合的なデータマーケティングサービスを提供しています。多くの有力プラットフォーム事業者と強固な関係を築いており、個々の顧客データを分析して統合することで顧客体験を高める同社のサービスは高く評価されています。

本件買収の目的は、当社グループのグローバルネットワーク・ブランド*の 1 つで、テクノロジーを活用したデータ分析に強みを持つデータマーケティング会社「Merkle」（マークル、本拠地：米国メリーランド州）の欧州 DACH 地域（ドイツ、オーストリア、スイス）における事業規模の拡大とサービス機能の強化にあります。

今後当社は、ナミックス社のブランド呼称を「Namics - A Merkle Company」（ナミックス・ア・マークル・カンパニー）へと改称し、欧州に展開するグループ各社と連携させることで、より競争力の高いデータマーケティングサービスを各市場で提供していきます。

なお、本件が当社の 2018 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

*電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク」（本社：英国ロンドン市）は、10 のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10 のブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、dentsu X、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeum を指します。

【ナミックス社の概要】

社 名 : Namics AG (ナミックス社)

本社所在地 : スイス・ザンクトガレン市 (スイスのチューリヒ市、ドイツのフランクフルト市/ハンブルグ市/ミュンヘン市に営業拠点、セルビアのベオグラード市にサービス開発拠点を持つ)

設 立 : 1995 年

株 主 構 成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%

収益(Revenue) : 6,554 万スイスフラン (約 74.2 億円) (2017 年 12 月期)

代 表 者 : Bernd Schopp (CEO)

従 業 員 数 : 550 名

事 業 内 容 : 顧客体験データに基づき、統合的なデータマーケティングサービスを提供

以 上